ブロック別の動向

前月と比べたDI値の動き　↗ 改善　→ ほぼ横ばい　↘ 悪化

中国

中国は、悪化。製造業では、値上げによる販売数量減少等の影響を受け、精密機械器具などを中心に売上が悪化した。水産食料品製造の事業者からは、世界的な水産物の需要拡大を受け、原材料費が過去最高レベルまで値上がりしており、仕入や製造にかかるコストが経営を圧迫している、との声が聞かれた。サービス業では、消費者の節約志向の高まりや人件費等の経費負担が増加し、飲食店を中心に売上・採算が悪化した。

四国

四国は、悪化。小売業では、中東情勢悪化の影響や価格転嫁の難航が響き、石油関連を中心に売上・採算が悪化した。石油販売の事業者からは、仕入価格の上昇分を十分に価格転嫁できず採算が圧迫されている、との声が聞かれた。一方、建設業では、資材価格の高騰に伴い民間の設備投資需要が振るわず、工場・店舗向け一般工事業を中心に売上・採算が悪化した。

九州

九州は、ほぼ横ばい。サービス業では、熊本地震のボランティアの飲食をはじめとした生活実需に支えられ、飲食料品を中心に売上・採算が改善した。一方、卸売業では、資材価格高騰や建設工事停滞の影響を受け、建築金属材料卸を中心に売上・採算が悪化した。農畜産水産物卸の事業者からは、地震による影響で物流が停滞しているため、新幹線の全線再開などによる回復に期待したい、との声が聞かれた。

	2025年	2026年						先行き見通し
	9月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10～12月
全　国	▲ 18.6	▲ 21.9	▲ 24.3	▲ 22.2	▲ 21.2	▲ 20.2	▲ 20.7	▲ 17.3
北海道	▲ 14.6	▲ 15.3	▲ 17.4	▲ 18.9	▲ 11.5	▲ 19.5	▲ 13.8	▲ 16.9
東　北	▲ 29.1	▲ 32.1	▲ 41.0	▲ 30.4	▲ 29.4	▲ 27.8	▲ 28.5	▲ 21.5
北陸信越	▲ 27.2	▲ 29.6	▲ 27.5	▲ 25.4	▲ 25.6	▲ 23.0	▲ 21.0	▲ 18.8
関　東	▲ 15.7	▲ 15.8	▲ 17.7	▲ 22.0	▲ 19.5	▲ 15.8	▲ 16.5	▲ 12.3
東　海	▲ 14.8	▲ 27.0	▲ 24.1	▲ 19.3	▲ 15.9	▲ 18.2	▲ 17.8	▲ 15.1
関　西	▲ 15.0	▲ 16.5	▲ 16.9	▲ 20.4	▲ 23.7	▲ 16.2	▲ 22.1	▲ 20.0
中　国	▲ 16.9	▲ 17.1	▲ 22.9	▲ 21.3	▲ 22.0	▲ 20.0	▲ 22.5	▲ 21.7
四　国	▲ 22.2	▲ 26.8	▲ 33.1	▲ 22.0	▲ 26.4	▲ 24.0	▲ 25.4	▲ 20.6
九　州	▲ 19.3	▲ 24.6	▲ 29.2	▲ 21.1	▲ 24.7	▲ 25.9	▲ 26.4	▲ 18.4

※　…1.0ポイント以上改善　…1.0ポイント以上悪化

